

令和5年12月1日(金) 第5校時

児童数 28名

指導者 栗原 由樹

場所 4年1組教室

1 単元名 秩父の学校と交流して、お祭りについて学習を深めよう

2 本単元のねらい

うちわ祭りの魅力を知り、調べた内容をまとめ発信することで、自分の住む地域の理解を深め、郷土愛を育む。また、他の地域のお祭りのことを知り、伝統を受け継ぐ思いや願いに共通点があることがわかる。

3 本単元の教材観と指導観

社会科の授業を通して、自分の住んでいる熊谷市のうちわ祭りが多くの人々の思いや願いの中で大切に伝えられてきたことを知った。また実際にお祭りに参加し、お祭りへの関心が高まっている中で、うちわ祭りについて更に詳しく調べ、まとめる中で、うちわ祭りに対する思いや願いを自分事として捉え、郷土に対する誇りと愛着を一層持つことができるようにする。

4 単元計画(10時間扱い)

- 1時間目 うちわ祭りを振り返ろう
- 2～5時間目 うちわ祭りを調べよう
- 6～8時間目 発表の練習をしよう
- 9時間目 交流会(花の木小学校)
- 10時間目 振り返り



5 本単元につながる今までの学習

①社会科「残したいもの、伝えたいもの」

→社会科の授業で、うちわ祭りの成り立ちや受け継いできた人たちの思いなどを知った。

②おはやし体験教室(体育館)

→石原学区にある、「石原区」「本石区」「桜町区」に御協力いただき、学校でおはやしを実際に体験した。地域の方の思いや願いを直接聞いたりすることで、うちわ祭りに対する知識や興味・関心が一層深まった。



③うちわ祭り体験

→今年復活したうちわ祭りに実際に参加し、太鼓を叩いたり山車を引いたりして、地域の伝統行事を体験し、実感を伴ってお祭りを知った。石原学区のだしについて、実際に見て関わりを深めてほしいという願いから、学校では「おまつりパスポート」を作成し、それを見せるとスムーズに体験をさせてもらえるように、各地区の方に協力をしていただいた。



学校で作成した「おまつりパスポート」表裏で首からかけられるようにした。子供達はこれを見せて、当日もお祭りに参加した。

6 本時のねらい

- ・うちわ祭りの魅力が伝わるように話したり、他地域にある文化を、興味を持って聞いたりしている。
(学びに向かう力・人間性等)
- ・秩父の小学校との交流を通して、お祭りという伝統を受け継ぐ思いや願いは同じことに着目して表現している。
(思考力・判断力・表現力等)

7 本時の展開

学習活動	学習内容	○指導上の留意点(配慮・手立て) ◎評価
1 本時の課題をつかむ。		○本時のめあてを確認し、交流に意欲的に取り組めるようにする。
花の木小学校と交流して、お祭りについての学習を深めよう。		
2 zoom を使って、「花の木小学校にうちわ祭りのことについて」、調べたことをまとめた紙を見せながら発表する。	発表すること ①うちわ祭りの歴史 ②うちわ祭りの山車・屋台 ③うちわ祭りの人形 ④うちわ祭りの楽器 ⑤うちわ祭りの見どころ	○相手に伝わりやすい発表となるように、ゆっくり話す、思いや願いを伝えるといった目標を声に出して読ませる。 ○zoom を使った交流が円滑に行われるように、カメラの位置や音声などの設定を適宜行う。 ○うちわ祭りについて理解を深めやすくするために、はっぴやうちわなど、お祭りに関係する具体物を見せながら発表させる。 ○全員が一言ずつ言えるように、発表する順番に並べて画面外に待機させる。 ◎魅力が伝わるように、聞き手にわかりやすく話している。(態度・発表)
3 花の木小学校の発表を聞く。	発表を聞く。 ①何歳からお祭りの練習を始めたか。 ②お祭りに参加したきっかけは何か。 ③どれくらい練習しているか。 ④どんな気持ちで練習しているか。	○うちわ祭りに携わる人々の思いや願いと比較させながら、4つの発表を聞き取る。 ◎花の木小学校の話の内容を、興味を持って聞こうとしている。(態度・ワークシート)
4 まとめをする。	伝統を受け継ぐ思いをもってお祭りに参加していること	○お祭りに携わる人々がどんな思いや願いを持っているか気付かせるために、思ったことをまとめ、発表させる。
うちわ祭りも秩父夜祭も、伝統を受け継ぐ思いをもって参加している。		
5 振り返りをする。		◎秩父の小学校との交流を通して、お祭りという伝統を受け継ぐ思いや願いは同じことに着目して表現している。 (思・判・表・ワークシート) ○個々で振り返りができるように、まとめの後にワークシートを記述させる。

8 事後指導

- ・交流した小学校に、発表や質問をして知ったことを踏まえて手紙を書かせ、渡す。